

# 用語集

## あ 行

浅井戸	深度10～30m以内の比較的浅い地下水を汲み上げる井戸のことをいいます。
アセットマネジメント	資産(アセット)を効率よく管理・運用(マネジメント)することを目的とし、水道事業においては、持続可能な経営を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動のことです。
1か月20 <sup>m</sup> 家庭用水道料金	1か月に20 <sup>m</sup> 使用した場合における水道料金を示した業務指標のことです。契約者の経済的利便性を表す指標の一つで、大きな地域格差があることは好ましくないとされています。 なお、本ビジョンでは、水道事業ガイドライン(日本水道協会)による業務指標を使用して、水道事業の事業活動全般を分析・評価し、本市と全国平均・類似団体平均と比較することで、本市の水道事業を定量的に評価しています。
一日最大配水量	1年間で最も多く配水した日の配水量のことです。計画時において水道施設の能力を決定する基準になります。
一日平均配水量	1年間の総配水量を年間日数で除した配水量のことです。
塩化ビニル管	耐食性に優れており、軽量で施工性がよいため、配水管や給水管などに使用されてきましたが、衝撃や熱に弱く、紫外線により劣化し、凍結すると破損しやすい短所があります。
塩素消毒	水道水は、衛生的で安全でなくてはならず、水道法により給水栓水で保持すべき残留塩素濃度が規定されており、消毒効果の大きい塩素による消毒を行うものとされています。
応急給水	地震、渇水および配水施設の事故などにより、水道による給水ができなくなった場合に、被害状況に応じて給水拠点、運搬給水および仮設給水などにより、飲料水を給水することです。

# 用語集

## か行

簡易水道事業	給水人口が101人以上5,000人以下の水道事業を指します。
管路の更新率	管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示す業務指標で、数値が大きいほど良いとされ、信頼性確保のための管路更新の執行度合を表す指標の一つです。
管路の耐震管率	導・送・配水管(配水支管を含む)全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示す業務指標で、100%に近いほど良いとされ、地震災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標の一つです。
管路の耐震適合率	管路の総延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示す業務指標で、数値が大きいほど良いとされます。
基幹管路の耐震管率	基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示す業務指標で、100%に近いほど良いとされ、地震災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標の一つです。
基幹管路の耐震適合率	基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示す業務指標で、数値が大きいほど良いとされます。
緩速ろ過	4m/日から5m/日程度の遅い速度でろ過し、砂層表面および砂層内部に増殖した生物のつくるろ過膜によって原水中の不純物を除去する浄水方法のことです。
企業債	地方公営企業が事業費の財源として国などから調達する長期の借入金のことです。
給水区域	水道事業者が国土交通省の認可を受け、一般の需要に応じて給水を行うこととした区域のことです。
給水原価	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの経常費用の割合を示す業務指標で、安いほうが事業者、契約者双方にとって望ましいとされ、水道事業でどれだけの費用がかかっているかを表す指標の一つです。
給水収益	水道事業会計における営業収益の一つで、水道事業収益のうち、最も重要な位置を占める収益です。通常、水道料金として収入となる収益がこれにあたります。

# 用語集

## か行

<b>給水収益に対する 企業債残高の割合</b> (企業債残高対給水収益比率)	給水収益に対する企業債残高の割合を示す業務指標で、企業債残高が規模および経営に及ぼす影響を表す指標の一つです。企業債残高は少ないほうが好ましいですが、水道事業が、起債によって世代間の負担の公平化を行い、長期的視点に立った経営を行うという点では、一定程度、企業債残高があるのはやむを得ないし、必要であるといえます。
<b>給水人口</b>	給水区域内に居住する人口のうち、水道水の供給を受けている人口のことです。給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口には含まれません。
<b>給水栓</b>	給水装置の末端部に取り付けられる開閉吐水器具で、一般に蛇口、水栓、カランなどとも呼ばれています。
<b>急速ろ過</b>	凝集剤を用いて原水中の懸濁物質を沈澱処理したあとに、残りの濁質を120m/日から150m/日の速い速度でろ過する浄水方法のことです。
<b>行政区域内人口</b>	行政区域内に居住している人口のことです。
<b>経常収支比率</b>	経常費用が経常収支によってどの程度賄われているかを示す指標で、値が高いほど良いとされ、水道事業の収益性を表す指標の一つです。
<b>経年化</b>	施設などが法定耐用年数を超えることです。
<b>経年化資産</b>	法定耐用年数を超え、耐用年数の1.5倍以内の施設を経年化資産としています。
<b>減価償却費</b>	建物や機械設備など、企業が長期間にわたって利用する資産を購入した場合、その購入価額をいったん資産として計上した後、当該金額を資産の耐用年数にわたって定期的に費用として配分される金額のことです。
<b>原水</b>	浄水処理する前の水のことです。
<b>建設改良費</b>	水道施設の新設および改良のための経費です。
<b>健全資産</b>	耐用年数以内の資産のことです。

# 用語集

## か行

広域化	給水サービスの高度化やライフラインとしての社会的責務を果たすために必要な財政基盤および技術基盤の強化を目的として、複数の水道事業等が事業統合を行うこと、または、その目的のために複数事業の管理の全部もしくは一部を一体的に行うことです。
更新	老朽化した施設・設備の機能を回復させるため、取替えあるいは再建設を行うことです。

## さ行

財政収支	歳入と歳出の差をいいます。歳入が歳出を上回る場合は黒字、下回る場合は赤字となります。
最大稼働率	施設能力に対する一日最大配水量の割合を示す業務指標で、水道施設の効率性を表す指標の一つです。値が高い方が施設を有効活用しているといえますが、100%に近い場合には、安定的な給水に問題があるといえます。
色度	水中に含まれる溶解性物質およびコロイド性物質が呈する赤褐色の程度をいいます。
施設能力	水道施設の計画水量に基づく最大能力のことです。
施設利用率	水道施設の施設能力に対する一日平均配水量を表す業務指標です。この比率は、水道施設の経済性を総括的に判断する指標であり、数値が大きいほど効率的であるとされています。
資本的収支	建設改良や企業債償還などによる支出とその財源となる企業債などの収入を中心とした収支のことです。
収益的収支	水道料金などの収入と事業の運営に必要な経費を中心とした収支のことです。
取水	地表水、河川水、湖沼水およびダム水、地下水から適切な取水施設を使い原水を取り入れることです。
浄水施設の耐震化率	全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示す業務指標で、100%に近いほど良いとされ、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表す指標の一つです。

# 用語集

## さ 行

浄水場	水源から導水した原水を飲用に適するように処理する施設のことです。一般的には、凝集、沈澱、ろ過、消毒などの処理を行う施設をいいます。
浄水池	浄水処理された水を一時的に蓄えて配水池へ送水を行うため、または非常時の対応を行うための水槽のことです。
上水道事業	給水人口が5,001人以上で、一般の需要に応じて水道により水を供給する事業のことです。
水源	取水する地点をいい、水源の種類には、河川表流水、湖沼水、ダム水、地下水、湧水、伏流水があります。
水質基準	水道水は、水道法第4条の規定に基づき、「水質基準に関する省令」で規定する水質基準(51項目)が定められています。
水道事業	給水人口が101人以上であり、一般の需要に応じて水道により水を供給する事業のことです。
浅層地下水	不圧地下水のことです。不圧地下水は、地下の砂、礫などの地層中に含まれている地下水で、降水量の影響を受けて水位が上下します。

## た 行

耐震化	地震が発生しても水道施設の被害を最小限に留め、被害が発生した場合においても早期復旧が行えるように施設を補強・補修または改築することです。
耐震管	過去から将来にわたって当該地点で考えられる最大規模の強さを有する地震動(レベル2地震動)において、管路の破損や継手の離脱などの被害が軽微となる管のことです。また、液状化などに対しても上記と同等の耐震性能を有する管を耐震管といいます。
耐用年数	固定資産が、その本来の用途に使用できると見られる推定の年数をいいます。水道事業においては、地方公営企業法により有形固定資産および無形固定資産について各々年数が定められています。

# 用語集

## た 行

ダウンサイジング	水需要の減少に伴い、施設更新などの際に施設能力を縮小して施設規模を適正化し、維持管理コストの削減を図ることです。
ダクタイル鋳鉄管	強靱性、耐食性、加工性など優れた特性を持っており、水道管として幅広く使われています。継手に様々な形があり、伸縮性、可撓性、離脱防止機能などを備えた耐震管は、地震時の地盤変位を吸収する柔構造の管路を形成します。
濁度	水の濁りの程度のことです。水道において、原水濁度は浄水処理に大きな影響を与え、浄水管理上の最も重要な指標の一つです。
地下水	地表面下にある水をいい、不圧地下水と被圧地下水があります。不圧地下水は、比較的地層の浅いところにある地下水のことです。被圧地下水は、上下を水の通しにくい地層で挟まれ、加圧されている地下水のことです。
統廃合	水需要が減少している現在において、過大な能力となっている水道施設を統合し、適性規模の施設を残して廃止することにより、維持管理の効率化および更新費用の削減を図ることです。
独立採算制	事業に必要なすべての経費を市民税などの税金ではなく、使用水量に応じて支払っていただく料金収入で賄うことです。

## な 行

内部留保資金	実際に現金の支出がない費用（減価償却費等）の計上によって生じた資金（＝損益勘定留保資金）や、過去の利益を積み立てた資金など、水道事業会計の内部に留保している資金のことです。建設改良投資や借入金の返済のために使用されます。
--------	--

# 用語集

## は 行

配水管	配水池から各家庭へ水道水を配るための管路のことです。
配水池	浄水場から送られた水道水を一時的に貯留し、配水管を通じて各家庭へ配水するための水槽のことです。容量は一日最大配水量の半日分を標準としており、事故や火災発生時にも配水を行うための水量を考慮した容量としています。
配水池の耐震化率	全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示す業務指標で、数値が大きいほど良いとされ、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標の一つです。
配水量	浄水施設から需要家まで送り出された水の量のことです。
表流水	一般的に河川水、湖沼水をいいます。
負荷率	一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を示す業務指標で、水道施設の効率性を表す指標の一つです。数値が大きいほど効率的であるとされています。ただし、観光地などにおいては、繁忙期と閑散期で配水量の差が大きく、この数値が小さくなり、土地利用状況などに影響される指標です。
普及率	給水普及率とは、計画給水区域における人口のうち現状の給水人口との比です。なお、水道普及率とは、給水人口と行政区域内人口の割合のことです。
伏流水	河川敷や山麓の下層にある砂礫層を流れている極めて浅い地下水のことです。
法定耐用年数	地方公営企業法施行規則で定められている固定資産の種類別（管路・建築・土木・機械電気）耐用年数のことです。
法定耐用年数超過管路率	管路の延長に対する法定耐用年数を超えている管路の割合を示す業務指標で、数値が小さいほど良いとされ、管路の老朽化度、更新の取り組み状況を表す指標の一つです。管路の更新率と密接な関わりをもち、通常、更新率が高ければ経年化管路率は低くなります。

# 用語集

## は行

法定耐用年数超過 浄水施設率	全浄水施設能力に対する法定耐用年数を超過した浄水施設の浄水能力の割合を示す業務指標で、数値が小さいほど良いとされ、施設の老朽化度および更新の取り組み状況を表す指標の一つです。
ポンプ場	地形、構造物の立地または管路の状況などの条件に応じてポンプ圧送方式により水を送る設備を設置している施設です。
ポンプ場の耐震化率	耐震化対象ポンプ所能力に対する耐震対策が施されたポンプ所能力の割合を示す業務指標で、100%に近いほど良いとされ、地震災害に対するポンプ施設の信頼性・安全性を表す指標の一つです。

## ま行

膜ろ過	原水をマイクロ単位の小さな孔の開いた膜（フィルター）に通し、小さな不純物まで分離除去する浄水方法のことです。
水安全計画	水源から給水栓に至る水道システムに存在する危害を抽出・特定し、それらを継続的に監視・制御することにより、安全な水の供給を確実にするシステムづくりを目指す計画のことです。
水需要	水道水の使用見込量のことです。

## や行

有収水量	水道メーターにより計量され、水道料金の徴収の対象となった水量のことです。
有収率	年間配水量に対する年間有収水量の割合を示す業務指標で、一般に100%に近いほど良いとされ、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを示す指標の一つです。
有効率	年間配水量に対する年間有効水量の割合を示す業務指標で、値が高い方が良いとされ、水道事業の経営効率性を表す指標の一つです。

# 用語集

## ら行

料金回収率	給水原価に対する供給単価の割合を示す業務指標で、数値が大きいほど良いとされ、水道事業の経営状況の健全性を表す指標の一つです。
量水器	水道メーターのことで、給水装置に取り付け、需要者が使用する水量を積算計算するための計量器のことです。
老朽化資産	耐用年数の1.5倍を超えた資産のことです。

## 記号

DBO	公共が資金調達を負担し設計、建設、運営を民間委託する手法のことです。
PFI	民間の資金、経営能力および技術能力を活用して公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う公共事業を実施するための手法のことです。
PC造	配水池の構造形式のひとつであり、プレストレスト・コンクリート (Prestressed Concrete) 造りのことです。予めコンクリートに応力をかけておくことで、引張に対して耐性を持たせたものです。
RC造	配水池の構造形式のひとつであり、鉄筋コンクリート (Reinforced Concrete) 造りのことです。引張に弱いコンクリートを補強するために内部に鉄筋を配したものです。
SUS造	配水池の構造形式のひとつであり、耐食性にすぐれ、高温・低温及び振動・衝撃に強い特徴を持っています。